

表紙の説明

雪化粧の靖國神社本殿

写真提供・靖國神社広報課

靖國神社の本殿は、二百四十六万六千余柱の神霊が鎮まるところです。明治5年に建てられ、昭和61年から3年間かけて屋根を中心に「昭和の大修築」が行われ、御創立一五十年記念事業では、殿内の冷暖房とバリアフリー化が施され、ご高齢のご遺族や崇敬者が正式参拝しやすい環境が整えられました。

本殿の建築様式は、伊勢神宮と同じ系譜の神明造しんめいづくりと呼ばれるのですが、高床式風の下部構造と四隅や切妻の屋根が直線的な形状をしているところにその特色があります。

本殿前の中庭には、鹿島砂利が敷き詰められ、両脇には丸みを帯びた月桂樹が植えられています。

本殿は、いつ見ても、どこから見ても、身が引き締まるような荘厳な美しさをたたえています。うっすらと雪化粧をまとくと、一層落ち着いた姿に見えます。

新年が、我が国にとり、雪化粧の靖國神社本殿のように、美しく落ち着いた一年となることを心から願うものです。